

12月定例会と  
2月臨時会の  
内容をわかりやすく  
お伝えします。

# ふくつ

## 郷づくり推進協議会を指定管理者に



「まちおこしセンターなごみ」  
津屋崎郷づくりを指定管理者に

### CONTENTS

- 基本構想審査特別委員会 P.2
- 部設置条例 P.4
- 市長に問う(一般質問) P.9
- 臨時会 P.16



「宮司コミュニティセンター」  
宮司郷づくりを指定管理者に

# 福津市まちづくり基本構想の策定について

## 賛成少数で否決

市長は今後のまちづくりの指針となる「まちづくり基本構想（案）」を策定し議会に議決を求めた。議会は全議員による特別委員会を設置し、平成30年12月5日（水）議案審査を行った。

審査の結果、特別委員会では、可否同数で委員長採決により可決となつた。12月11日（火）に行われた本会議では、委員会報告が行われ、討論ののち採決では賛成少数により否決した。

### 主な本会議討論

#### 反対

議会は市民がよりよい生活ができるよう、夢を語り合い実現に向けて決定していく場である。夢とは政策である。本議案において、市長は夢を語っていない。

福津市基本構想の議決に関する条例第2条の定義では、基本構想とは、市が総合的かつ計画的な行政運営を図るためにもかかわらず、総合的かつ計画的な行政運営の指針となつてているのか疑問であり、世の中の動きを的確にとらえる視点が欠けている。

#### 賛成

平成28年7月3日から始まった基本構想は、首長の交代もあり、期間を延ばしての策定となつた。その間、郷づくりとの意見交換会、庁内の分野別ワーキング会議、市民・職員アンケート、そして、市民参加のふくつ

未来会議を経て、審議会へ諮問されている。審議会では、パブリックコメント中に、基本構想について語り合う会を開催するなど、今までにない策定過程を踏んで市民への説明責任を果たしている。また、基本方針の中に「子どもの権利を守り」とうたい込まれ、子ども自身の育つ力を育む子育ち支援が盛りこまれ

ているが、子どもにかかる部分では、審議の中で子どもを中心に据えるということを確認した。

**反対** 「税収の大幅な増加が期待できない一方、扶助費や公共施設の維持更新費が増加することにより、市の財政運営は厳しさを増すことが予想されるが、暮らしづらさの向上を図り、一人一人が生きがいを持てる地域社会をつくることが重要です」とあるが、具体策がない。そこことは、将来市民へのしわ寄せを強いることになる。

審議会において、市のことによく知らないことで遅れたとあり、また審議会が5回開かれた中で、審議委員10名の全員が出席した審議会は、1度もなかった。

**反対** 郷づくりは自治会が基軸となるが、現在市が進めている広報配布を民間業者に委託することは、自治会脱会者を加速する可能性がある。基本構想とする施策となる。

健康については、100歳までも元気な施策とあるが、70代以降の介護や福祉について触れていらない。諸施策は基本構想の議決をいただいたら作成するの答弁だが、文言として方針や概要を入れることに意味がある。基本構想としては不十分である。

**賛成** 七つのテーマが掲げられているが、子どもにかかる部分では、審議の中で子どもを中心に据えるということを確認した。

健康で生き生きと暮らせるま

でいる。



## 平成30年度一般会計補正予算 35億352万円を追加し

# 総額257億7884万円

共働のふるさとづくり

寄附金事業費  
返礼品等の費用を増額する

1338万円

を計画的に実施していくもので、工事用地購入の日途が立つたため予算化するもの

666万円

公共施設等総合管理基金

公共施設等維持修理及び解体等を計画的に進めていく上で必要となる経費の財源に充てるもの

33億円

小学校校舎施設整備事業費

福間南小学校次年度教室不足対応のため改修を行うもの

125万円

中学校校舎施設整備事業費

福間中学校次年度教室不足対応のため改修を行うもの

951万円



復旧中の13号古墳

た施設のうち、国庫補助対象の施設事業費確定で原状復旧補修工事を実施するもの

896万円

平成31年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い

「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情書

福岡県保険医協会

会長 林 裕章

学校教材の計画的な整備促進についてのお願い

一般社団法人 日本教材用品協会 会長 大久保 昇

「主要農作物種子法」廃止に関する市町村議会での意見書採択のお願い

自主・平和・民主のための広範な国民連合・福岡

代表世話人 久保山 教善

地域分別資源ごみ収集と広報配布についての陳情書

田中 久保山 教善

地元自治会による意見書の採択を求める陳情書

田中 久保山 教善

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書

寺崎 太

## 陳情

## 人事案件に同意

《教育委員会委員》

今村 尚敏 氏

任期 平成30年12月12日から  
平成32年4月6日まで

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書  
移植ツーリズムを考える会  
九州事務局 担当 寺崎 太

代表 田中 久保山 教善

小澤 文夫

收

河川改良事業費  
西堅川冠水被害対策の護岸改修

農業用施設災害復旧事業費

豪雨により、土砂崩落が発生し

宗像保護区保護司会が平成31年1月活動拠点として更生保護サポートセンターを開設するため、運営経費等の一部を財政支援するもの

24万円

地域交通体系整備事業費  
津屋崎線等一部路線変更が必要になつたため  
131万円

古墳公園建設事業費

豪雨による土砂崩落が生じた新原・奴山13号古墳に国庫補助の採択を受け事業費が確定し原状復旧補修工事を実施するもの

1404万円

# 福津市部設置条例の改正案について

## 全員反対で否決

**公共施設の維持管理費用として、財源確保を図る基金条例を可決**

## 全員賛成で可決

福津市第2次総合計画の代わりとなる「まちづくり基本構想」の案が本定例会に提出された。改正案は、基本構想を進める為の行政内部の機構改革であり、新設統合予定の経営企画部の中にマーケティング課と財政調整課、市民共働部と建設経済部を設置して課の移動と名称変更をする議案である。委員会では全員反対で否決。本会議においては賛成少数で否決となつた。

### 主な質疑

問 機構改革は必要か。庁舎内のサイン変更など多大な費用が掛かり、職員が戸惑うような機構改革は市民の理解を得られるのか。

### 反対

主な委員会討論  
反対 機構の一部見直しとは言えない。防災安全課を総務部から外すのは適切ではない。

答 改正の理由は経営の強化と市民共働の充実にあり、一番仕事がしやすい部課の編成をしていく。

主な本会議討論  
反対 まちづくり推進室を部に昇格する手段であり、新規事業等のスピード感と健全財政は両輪であるが、監視体制が危惧される。見直しのポイントは何か。

問 提案理由は機構の一部見直しだあるが、大きな異動となつている。見直しのポイントは何か。

答 提案した執行部も大きな機構改革と認識している。総務部に集中していた人事部門と財政部門を切り分け行政経営を集中して管理する部を設置した。

**答** 目的基金なので、市長の政策的経費では取り崩せない。

## 公共施設等総合管理基金条例の制定に伴い、財政調整基金条例の処分に関する事項を改正

## 全員賛成で可決

市が保有する公共施設の老朽化に伴い、今後増加する施設の更新、維持修繕及び解体等を計画的に進めて行く上で必要となる経費の財源として、新たに特定目的基金を設置するため、福津市公共施設等総合管理基金条例を制定。

### 主な質疑

問 公共施設の総合管理計画に基づいた個々の施設に対する基金の運用イメージは。

財政調整基金は、財政的に余裕のある年度に積立て、経済事情の変動等により財源が著しく不足する場合に備えるものであるが、一般会計予算に定める当該不足額の充当財源としての処分の枠を外すものである。

答 個別計画を急ぎ策定し、優先順位を付けて順次取り崩す。直近の中期財政プランにより、施設の更新費用から充当可能な一般財源を引いた残額が財源不足となり、毎年9億8000万円ある。国庫補助金や起債で賄えない額を充当。

### 主な質疑

問 未曾有の災害が起きた場合、本市保有の財政調整基金約50億円で足りるのか。

答 本市は、約58億円の財政調整基金があり、標準財政規模の50%近い比率である。他市町村の状況は10%～20%で、妥当な金額を言うのは難しいが、標準財政規模の20%を下回ることはできない。

問 保育所や学校建設を急ぐが、市長が最終的に取り崩すのでは。

答 行政組織や人事案件は市長の専権事項であり、本案の機構改革により、行政組織が円滑に行われ、住民サービスの向上が図られることが期待できる。

(総務文教委員会審査報告)

## 福津市まちおこしセンターの指定管理者を指定

賛成多数で可決

指定管理者

津屋崎地域郷づくり推進協議会

代表者 会長 山脇 清

指定の期間

平成31年4月1日から  
平成34年3月31日まで

まちおこしセンターなごみ



主な質疑

**問** 現在の津屋崎郷づくりの拠点は、まちおこしセンターなごみに移転との事だが、現在の津屋崎郷づくり交流センターはどうなるのか。また、まちおこしセンターなごみを増改築するのか。

**答** 指定管理が決まれば、津屋崎郷づくりは、まちおこしセンターなごみに移転する予定である。津屋崎郷づくり交流センターから事務局がいなくなるので、「津屋崎郷づくり交流センター」という名称は、条例においてはなくなる。また、増改築は管理運営をしていく中で検討する予定である。

**問** 観光とまちおこしの拠点という目的を持つ、まちおこしセンターなごみの指定管理者に地域自治活動と定義されている郷づくり協議会が指定されることの整合性について伺う。

**答** 当初、まちおこしセンターの整備にあたっては、合併後に地域がどれだけ活性化できるかと



## 宮司コミュニティセンターの指定管理者を指定

全員賛成で可決

指定管理者

宮司地区郷づくり推進協議会

代表者 会長 坂根 康廣

指定の期間

平成31年4月1日から  
平成34年3月31日まで

(建設環境委員会審査報告)

主な質疑

いうところを考慮し、合併直後に建設を行った。観光拠点であることともに、地域の活性化を目指した施設なので、地域の団体が管理運営をしていくのがより望ましいという結論になつた。

主な委員会討論

**反対**これまでの指定管理者でも利用者や来訪者は増加し、昨年度のモニタリングでも高い評価を受けている。これまでどおり観光に軸足を置いた取組みをすべきと考える。また、指定管理者選定委員会の説明には矛盾点もあり反対とする。



宮司コミュニティセンター

主な質疑

**問** 指定管理者制度は、公の施設について民間事業者などが有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図ることであるが、宮司地区郷づくり推進協議会を指定することにより、このことが十分に果たせるのか伺う。

**答** 宮司郷づくりが行ってきた地域での活動事業の取組みは、実際に宮司地区の住民の方の福祉の向上や活性化に繋がっていると判断した。

## 税条例を一部改正

### 全員賛成で可決

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い福津市税条例を改正。

#### 主な質疑

【問】「控除対象配偶者」と「同一生計配偶者」が同じものであることだが、なぜ変わったのか。

【答】「同一生計配偶者」のうち1千万円以下の所得の人に扶養されている配偶者が「控除対象配偶者」になる。1千万円という金額が入ったことにより、名称が変わっている。

### 福社会館夕陽館の指定管理者を指定 全員賛成で可決

福社会館夕陽館の指定  
管理者を指定  
全員賛成で可決  
指定管理者(株)トキワビル商会  
代表取締役 斎藤 正宏  
指定の期間  
平成31年4月1日から  
平成34年3月31日まで

#### 主な質疑

【問】説明会に参加した2社のうち1社しか申請しなかったということだが、指定管理者の選定では「最も適当と認める申請団体を指定管理者の候補者として選定するもの」となっている。1社しかいないのに「最も適当」とはどうのよう判断するのか。

【答】最低点を設定し、達しない場合は審査会としては不適当とする答申を行うことになる。

【問】施設の老朽化がかなり進んでいるとの声を聞くが、指定管理者で継続していく上で、施設のリニューアル、修繕費等はどれくらいの諸経費がかかるのか。また実施する考え方。

【答】リニューアル、改修には1億円以上かかるという報告を得ている。現在、年間500万円程度かけながら、入浴施設を維持するための修繕は継続して行っている。利用者から出している美観を求める部分については、修費用が割けていない状況になっている。

(市民福祉委員会審査報告)

## 市民に、より開かれた、信頼される、信託に応える上越市議会と議会改革日本一の議会を目指す加賀市議会を視察

賛否の公表、市民意見の反映、説明責任、議員間討議、市長の反問など議会基本条例策定、上越市の議会運営と活性化の取組みの調査を行った。「議員はどうしているの、議会って何をするの」という市民の疑問に答えるため、情報発信やPR活動の重要性を考え議会基本条例を施行。条例に基づき5つの取組みの実施など加賀市議会の議会運営の調査を行った。(議会運営委員会所掌事務調査)

### 上越市議会視察

上越市議会は議会基本条例を制定しており、情報共有・公開、市民参画、議会報告会など積極的に取り組んでいる。福津市議会では、議会基本条例を制定していないものの、議会報告会や意見交換会など議会改革、活性化に取り組んでいきたい。また、上越市議会では平成30年度から予算約500万円で議会モニターリング制度を導入、現在、議会サポート制度導入の検討を行っている。また、タブレット端末使

### 加賀市議会視察

加賀市と福津市では、定例会の進行や委員会審査など取組みは異なるが、本市では取り組んでいない課題が沢山あり、議会改革に向け事務局を含めて、検討をすべきと考える。まずは、予算が掛からないことと、予算化をしないと出来ないことに分けて、効率化が図られ、議会のみではなく、市民参画の政治について、効率化が図られ、議会のみではなく、市民参画の政治について、効率化が図られ、議会のみ

がるよう努めていきたい。タブレット端末の導入については、予算や議員の対応などの問題で当面先送りとなつた。ペーパーレス化、議員間の迅速な情報交換などに効果があるため、近い将来の導入を目指したい。

## 指定管理者制度導入から10年以上経過し現状を調査。児童生徒数増、委託業者変更などによる安心安全円滑な学校給食の状況調査

指定管理者制度の現状調査のため、総務課・郷育推進課からの説明を受け、質疑応答の後、福間体育センターと津屋崎体育センターを視察。学校給食の現状について、学校教育課からの説明を受け、質疑応答の後、福間南小学校を視察。

### 指定管理者制度の現状

平成15年に「地方自治法の一部を改正する法律」が施行され、「指定管理者制度」が創設された。市では、「民間に委ねることが出来るものは民間に委ねる」を原則に、全庁的に取り組み、円滑な導入を推進してきた。



福間南小の調理場

(総務文教委員会所管事務調査)

市外の利用者との区別も含め利用料金の再検討が必要である。意欲のある適正な指定管理者の選定が重要になる。

共同調理場方式が1カ所（津屋崎中学校・津屋崎小学校・勝浦小学校の3校分）で、その他の7小中学校が自校方式をとっている。今年4月1日より、調理業務委託先の事業者が変更となり、3業者が入っている。調理業務委託会社は、市との請負契約であり、安全な給食の提供が成果である。調理に際しての協議は、栄養士と委託会社が配置している調理業務責任者及び副責任者と行っている。特に改善を要する課題や協議事項がある場合は、学校教育課担当部署と会社及び必要に応じて学校関係者と協議をしている。

栄養士配置状況は、県費職員（栄養教諭）が福間小・福間南小・神興東小・福間中・学校給食共同調理場に、市費職員（学校栄養職員）が神興小・上西郷小・福間東中にそれぞれ1名ずつ配置されている。栄養士は、その日の給食時間に校内を巡回し、食べている状況を把握し、献立や調理方法が適切であったか等、管理職が記録する検食簿

### 学校給食の現状

共同調理場方式が1カ所（津屋崎中学校・津屋崎小学校・勝浦小学校の3校分）で、その他

残食率は、小中平均2～3%程度であり、「おいしく食べてもうつっている」ことの証拠といえる。教育では、給食の時間を、給食を生きた教材として活用できる「学級担任が行う指導の時間」としている。

アレルギー対応については、校内食物アレルギー対応委員会を設置している。除去食に関しては、医療機関を受診し診断書の提出が必要となる。

除去食対応生徒数は、平成30年5月末現在で、小学校総児童数3967人中107人。うちエピペンを有する児童数は13人。中学校総生徒数1572人に對し39人で、エピペンを有する生徒数は6人。教職員は、使用法の研修を受けるなど、対応策を講じている。

地元産品活用は農産物のみで、福間地区は週2回ふれあい広場から、共同調理場は毎朝あんづの里から納入されており、福間地区と津屋崎地区の差を感じた。今後、更に素晴らしい給食の提供を願う。

## 待機児童急増の現状と今後の傾向について調査 全国展開予定の子育て世代包括支援センターの 現状を調査

福津市の保育所待機児童対策は、「後期保育所再編計画」を実施することにより解消に向かっていた。しかし、急激な人口増により待機児童も急増している現状がある。今後この待機児童問題がどのような傾向になつていくのか現状と課題を調査検討する必要があることから所管事務調査を実施した。

### 待機児童対策について

平成30年4月1日の法定内待機児童数は37名、法定外待機児童数は76名である。申込者数は、1422名。定員は、認可保育所・認定こども園・小規模保育所等合わせて1228名である。平成31年4月には、1408名の利用定員になる予定。

今後の取組みとしては、中長期的には、平成32年度以降の「子ども・子育て支援事業計画」を策定する。短期的には、基本的には認可保育所の整備を中心にしていく考え。同時に、保育士の確保も進めていかなければならぬため、県と協議を進め、潜在保育士の発掘と確保に努める。

### (市民福祉委員会所管事務調査)

「子ども・子育て支援事業計画」の中で、就学前児童数を的確に把握し、申込者数の動向を把握する必要があると考える。

### 子育て世代包括支援センター

センターの果たすべき3要件として①「専門的知見」と「当事者目線」の両方を生かし必要な情報を共有し切れ目なく支援する②きめ細かく支援する③様々な関係機関とのネットワークを構築し必要に応じ社会資源を開拓することがある。福津市では、平成32年度中に開所する予定である。

開所に当たって、職員不足が考えられ、早急に専門職の雇用を検討すべきである。

## 災害発生後にでる廃棄物の処理と不法投棄によるゴミ対策。山間部の下水道整備状況について調査

災害発生後の片づけ作業時に発生する廃棄物について、市では新宮町・古賀市と共同して「災害廃棄物処理計画」の策定に取り組んでいることから内容について調査を行つた。また市内の不法投棄が顕著となつている実態と対策を確認した。下水道整備は現在、山間部の工事が行われている建設コストについて調査を行つた。

### (建設環境委員会所管事務調査)

収③自治会委託による不法投棄監視④業者委託による大きな不法投棄のゴミ回収を行つてている。監視委託を行つてるのは10自治会。監視カメラを1カ所設置している。昨年度職員が回収したゴミの量は約13tであった。

### 災害廃棄物処理計画について

災害で最も被害が甚大になるのは西山断層（南東下部）が揺れた場合の地震と想定している。この地震で市は6000tのゴミが出ると想定。ゴミは市内に一次仮置き場を作り集積・分別をする。必要な面積を約2万3000m<sup>2</sup>としている。その後二次仮置き場（古賀清掃工場付近）に運搬し、ここで再度分別。一次・二次仮置き場でゴミを50%削減し、残りを焼却等で処理を行うとしている。

### 山間部の下水道整備コストは

山間部での整備単価は、市街地より約2万円安くなっている。理由は地下埋設物が少ないことと、マンホールを設置せずに管接続が可能なためコストダウンが図られていた。

### ゴミの不法投棄対策は

- ①不法投棄等禁止看板の設置
- ②職員による不法投棄のゴミ回収



# 一般質問



## 1. 江上 隆行 ····· P10

- ①地域商社「一般社団法人福津いいざい」の取組みの現況と事業計画について問う
- ②市長の財政運営の考え方と内部統制を踏まえた福津市経営の基本的考え方について問う

## 2. 中村 清隆 ····· P10

- ①市内グラウンドのナイター照明の必要性について
- ②市のプールの状況について

## 3. 砲野 九州男 ····· P11

- ①素通り観光にピリオドを
- ②認知症徘徊対策で市が保険契約を

## 4. 戸田 進一 ····· P11

- ①子ども第一の視点で取組みを
- ②指定管理者制度について

## 5. 蒲生 守 ····· P12

- ①認可保育所建設の遅れと今後の対策について
- ②学童保育所の入所定員について
- ③防砂対策について
- ④デマンド交通の取組みについて

## 6. 永島 誠也 ····· P12

- ①福津市ユニバーサルデザイン計画及び障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について

## 7. 豆田 優子 ····· P13

- ①本市から発信する持続可能な環境について
- ②不登校・ひきこもり支援について
- ③未来を想像する子どもたちのために

## 8. 永島 直行 ····· P13

- ①あんずの里改修工事(地方創生拠点整備事業)について
- ②海岸の竹柵工について
- ③牟田池改修工事について
- ④市長公用車と副市長の職務について

## 9. 永山 麗子 ····· P14

- ①葬儀後の市役所での手続きについて
- ②ふるさと納税増額の工夫と返礼品について
- ③市の未来を思う中で

## 10. 横山 良雄 ····· P14

- ①福間武道館の利用状況と中学校武道必修化授業並びに柔道部の活動について
- ②日蒔野にある2号調整池に予定されている公園建設について
- ③福津市第2次総合計画について

## 11. 榎本 博 ····· P15

- ①市財産の有効活用について
- ②東福間駅周辺地域活性化の取組みについて
- ③郷づくりについて
- ④環境保全及び景観保全の取組みについて

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。

質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定期会後の4年間です。  
(検索方法は19ページに掲載)

福津市古墳キャラクター  
ふんちゃん



## 地域商社で住民福祉 向上が図れるか



江上 隆行

住民福祉に資する  
地域商社をめざしたい

## 問

行政の根本的な役割は、民生、福祉、教育である。つまり、市民の生活、市民の幸せ、将来を担う子ども達の教育の充実、これ以外で税金を使う場面が出てきた時は要注意だと思っている。また、地方自治法では市は住民福祉の増進を図ることが規定されている。この理念を地域商社の取組みを通じて、どのように具現化するのか。

## 答

稼げるまちを掲げているのは、行政経営で歳入の確保が、福祉や教育等の住民サービスに資することになり、その大きな役割を地域商社が担っていくべきだと思うからであり、住民福祉に資する地域

## ▼本市の人口増に伴う財政の動きは

商社をめざしたい。

## 問

地方交付税制度上、市税が増えれば交付税は減る。人口増でも市の税収はそんなに大きく伸びない。他面、保育所や学童保育所の整備、教室の増築や高齢化、施設更新などで扶助費、建設費等々、支出が収入を上回ることを懸念する。

本市の人口増に伴う財政の動きについて、市長の認識を問う。

## 答

稼げるまちを掲げているのは、不必要的事業のスリム化、効率化を図っていくことで歳出を抑えると共に短中期的な歳入確保の経常感覚を持ちたいと考えている。



「地域商社」を推進する内閣府

## 多くの市民が望む プールの建設を



中村 清隆

多方面から声は聞く  
喫緊の課題と認識し検討

## 問

小中学校のプールの現状は。

## 答

小学校では、建設後35年以上、中学校でも25年以上が経過し、修繕等を行い、維持している。

## 問

神興小のプール改修工事費はいくらで、今後他校の工事予定は。

## 答

約4200万円。福間南小学校を予定。工事費は、物価や建設費の上昇で、かなり上回ると予想。

## 問

市内グラウンドに照明設備を

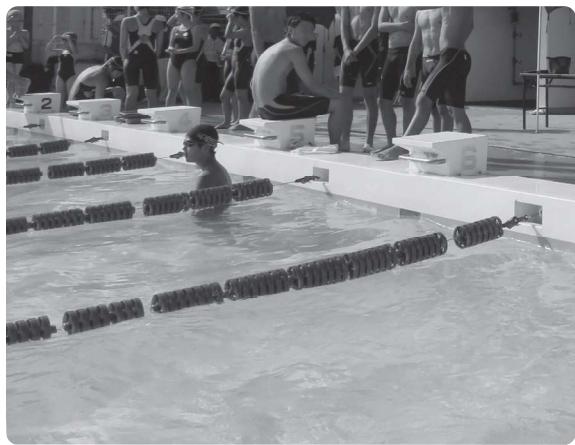
はあるが、効果がすぐには見えにくい。社会保障費削減なども含め、慎重に検討し、健康増進室の利用と同様に補助できないか検討。

## 問

市民が利用できる総合スポーツセンター施設としての一つの屋内プールを、十分検討したい。

## 答

なまづの郷の多目的グラウンドでは、1億7千万円で、限度額2千万円のスポーツ振興助成金を当てても、厳しい状況である。



市民の誰もがいつまでも利用できるプール建設を

## 素通り観光に ピリオドを打て

観光基本計画を  
策定したので検討する



砥野 九州男

問 本市の古墳群が世界遺産に登録され、昨年度は来訪者が1万8千人を超えた。また、本市は「住みよさランキング2018」で九州1位となり、全国でも11位。その結果、人口増や農業・漁業観光など全国的に注目されている。平成29年の観光客数は560万人を超えたが、観光客は宿泊せず素通りしている。宿泊施設が少ないからではないのか。宿泊施設を誘致すべきだ。

答 宿泊施設の現状は、旅館、民宿、簡易宿泊所9施設で福津観光協会のホームページ、観光マップなどで情報提供している。

問 認知症徘徊中、事故で家族が高額の損害賠償を求められ請求された事例はないのか。徘徊中、事故などで損害を負わせて億単位の賠償を請求されたケースが報道されている。損害賠償に備えて、市が一括保険加入してはどうか。



福津市の観光スポット

## 待機児童解消を 大至急に

さまざまな手を打つて  
進める



戸田 進一

問 11月1日時点での待機児童数は195名だが、今、見通している来年度の定員増は140名の計画であり、待機児童解消ができないのは明らかだ。解消のための早急な手立てを求める。

答 現在の「子育て支援計画」を早急に見直し、補正予算等を組み前倒しで、施設整備に取り組みたい。

問 待機児童や小中学校のマンモス校化、そして先生の過密勤務などの解消は、子どもたちの好ましい環境整備のために重要なこと。先生たちの過密勤務解消は、学校現場まかせにせず、教育委員会でしっかりと取り組むべき課題と考える。市の見解を。



「子ども第一」の視点でとりくみを

問 保育土確保や保育部門で定員数に充足していない認定こども園との協議が必要と思う。また、市の現状のしくみでは、第2子が生まれると第1子は退園しなければならない。保育園問題は、この問題

答 損害賠償を求められたケースの把握はない。認知症のご家族が市に登録する制度があり、登録とあわせて保険のお知らせをしたい。

## 認可保育所建設 延期の影響は



蒲生 守

保護者の方に寄り添つた  
対応を考える

問 日時野地区に開園予定の認可保育所が4月に開園できないと説明があった。できなかつた理由と今後の対応は。

答 開園時期は平成31年4月予定から6月の開園に延期となつた。理由として、工事入札業者の辞退及び資材調達の状況から判断した。

今後の対策は保育所、認定こども園等の入所枠の協議をはじめ、企業主導型保育施設や届出保育施設の入所情報を収集するとともに、連携方法を探りながら対処したい。また、6月開園の新設保育所への入所説明会を進めている。



建設が急がれる認可保育所

## 障害者差別解消法の 周知は



永島 誠也

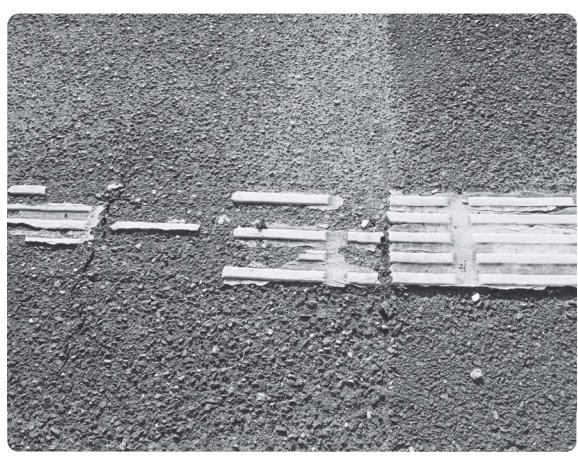
広報紙等で周知を  
続けていく

問 平成25年に法律ができ平成28年施行までの3年の猶予期間があると思うが本市では、この3年間どのような動きをしたか伺う。

答 3年間の具体的な動きの資料を手元に持つていないので答えることが難しい状態である。

問 障害者差別解消法の本市の概念を伺う。

答 障がいをもつていてる方もいない方も、同じように日常生活がスムーズに送られる事であり、理解を深め配慮をしていただける市を、マンドも含めて検討している。



破損した点字ブロック 維持管理は

## 広報紙等で周知を 続けていく

問 対象者は、どのような方を指すのか。

答 一般的に、「障害者手帳」を持つている方といふことだが、障がいには、いろいろな程度があり手帳を持ってない方、心の障がいで困っている方もいろいろである。また高齢になつていろいろな支障が出てこられた方々も全て含めないと認識している。

問 総合計画は策定中だが、ユニアーサルデザイン計画は持続していくか伺う。

答 分野別計画として継続させていくべき計画になつていて、

## プラスチックごみ削減の取組みは

ごみ問題の周知・啓発を  
継続的に図る



豆田 優子

**問** 世界的課題であるマイクロプラスチック問題は福津市にも大いに関係がある。22kmの海岸線、そして白砂青松の松林保全、漁業も主要な産業となっている福津市だからこそ重要な問題だ。地方自治体でもやることがある。使い捨てプラスチック使用量世界2位の日本に暮らす私たちは、被害者にも、加害者にもなり得る。私たちにできることは、「ごみを出さない」、「ごみに出す場合は適切に処理すること」。そのためにも現状を市民に知ってもらいう必要がある。

**答** ごみ問題や自然環境の保全等の周知並びに啓発を継続的に図る。

**問** 80代の親が50代の子どもの生活を支える「8050問題」が社会的な問題になっている今、ひきこもり支援は重要な施策だ。うきは市では、社会福祉協議会に委託をしている。フリースペースがあり、大人の目を気にしなくとも外に出られる環境を作り出している。専門的の人員の確保で言えば、社会福祉協議会に委託して実施するほうが確実だ。委託の考えは、

**答** 職員の確保や、同じ職員が長期間かかわることができるという点では、委託することで解決できる部分もあると思うが、十分協議して考える必要がある。

あんずの里市の駐車場を一方通行に  
状況を把握し結果で一方通行等を検討



干潟に捨てられているゴミ



永島 直行

**問** あんずの里市を2億310万円で改修した。投資効果はあったのか。また、入りづらい、出づらい、駐車しづらい、グリーンベルトが危ないと6月議会でも指摘した。現在では多くの利用者から苦情が寄せられている。検討されたか。

**答** 4月から10月までの販売額が1億6300万円程度で昨年同期と比較してマイナス4.6%現時点では効果は出てない。駐車場は組合、設計者、市、警察と協議し安全確保等を念頭に整備した。この状況の把握に努め、その結果で大変貴重な機会であると思う。こういう事を展開されていることは大変喜ばしい事であり意義があると感じている。

▼副市長の職務について



事故が心配される出入口と歩道

## 人口何人の都市としてのまち作りがある。検討させて頑く



永山 麗子

問 人口は全ての計画の大元になる。本市は将来、人口何人の都市としてのまちづくりを考えているのか。

答 毎年千人を超える増加を続けている。人口を確定する必要があるが、人口抑制施策は取りたくない。検討させていただく。

問 新宮町など、修正修正をしながらもきちんと人口数を提案しながら、インフラ事業に着手してきてる。本市でも早急に数字を出さないと事業が出来ないが。

答 担当課にはもう少し時間をどうことになっている。

## 確定していく必要がある。検討させて頑く

問 市長の舵さばきで、福建丸は丈夫か。

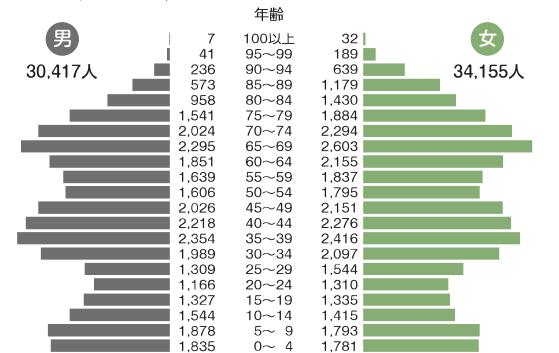
答 子育てインフラが悲鳴をあげている。早急に府内部議論の必要がある。

問 有事の際を考え、市外在住の元助役や副市长は市役所の近所に家を借りていた。福岡市内居住の副市长は、本市に居住すべきでは。

問 友人宅に部屋を用意している。

答 制服が間に合わなかつたから。

福津市人口ピラミッド  
(H30.11末現在) 64,572人



人口の将来推移を早急に

## 柔道利用者が困つて いる福間武道館



横山 良雄

問 中学校の武道場が利用出来るようになる

答 福間武道館の柔道場は、畠90坪に対して小学生あわせて37人の練習生がいる。狭くて大変危なく、練習にならない。また、中学生の中には、県大会3位の逸材もある。中学校部活動という大事な目標もあり、充実した柔道部の練習との位置付けもある。なぜ、中学校の武道場を練習場に使えないのか。

答 福間中学校の柔道場が使われていないが、現にそこが空間としてある。練習し辛いということは憂慮すべき事態と思う。柔道を思う存分できる環境整備に努め、中学校の武道場が使えるようにする。

### ▼子ども達が自由に遊べる公園を

問 日時野2号調整池の公園計画と工事進捗の説明がない。どのように公園になるのか。

答 調整池と連携した運動公園として計画され、水害による警報設置等の安全対策を実施し、翌年3月の完成を予定している。

### ▼第2次総合計画の進捗と施行日は

問 計画の遅れは都市計画や教育、福祉、まちづくり等々の計画と行政改革も遅れる懸念するが。

答 策定済み分野別計画を生かし総合計画をまちづくり計画に改めた。



狭くて危険な福間武道館

## 東福間駅周辺の活性化の取組みは

協議会を設置して  
計画策定に着手している



榎本 博

**問** 都市計画マスター・プランでは津屋崎地域は「観光」というコンセプトが示されている。東福間地域のコンセプトは、協議会にコンセプトを示すべきではないか。また適正人口は見込まれているのか。

**答** 技術的検証など個別検討を簡易ではあるがおこなっている。

**問** この事業の完成時期は。  
**答** 時期をいえる状況ではない。  
**問** 老朽化した道路や都市計画道路の検討は。

**答** いろんな地域の声を集める取組みと東福間駅周辺の今後の方針を検証していくことを来年度おこなっていきたいと思っている。

**問** 閉鎖された駐輪場、危険な津丸踏切の対策や空き店舗を活用した高齢者や子育て世代が交流できる居場所づくりなどを先にすべきとの地域の意見が出ているが。

**答** 現在、住まわれている方、新たに住んで頂ける方も「暮らしやすい場所」ということがコンセプトであると考えている。当該地域は区画造成されているので新たな開発をしない限り団地の区画数が将来人口と捉えている。



危険な踏切や老朽化した道路の対策を

### 賛否表

結果	議案名	議員名	議員名															
			中村 清隆	永島 誠也	西野 正行	蒲生 守	横山 良雄	豆田 優子	戸田 進一	榎本 博	吉水 喜美子	江上 隆行	井上 聰	米山 信	永山 麗子	大久保 三喜男	砥野 九州男	永島 直行
否決	議案第68号 福津市部設置条例を改正することについて		●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	/
否決	議案第70号 福津市まちづくり基本構想の策定について		○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	/
可決	議案第71号 福津市福祉会館の指定管理者を指定することについて		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	/
可決	議案第72号 福津市まちおこしセンターの指定管理者を指定することについて		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	/
可決	議案第73号 宮司コミュニティセンターの指定管理者を指定することについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	/

\*議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

#### 下記議案については全員賛成で承認・可決・同意

承認第 5号 専決処分した事件の承認について(平成30年度福津市一般会計補正予算(専決第1号))

議案第 5・8号 福津市一般職の職員の給与に関する条例を改正することについて

議案第 5・9号 福津市の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正することについて

議案第 6・0号 福津市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正することについて

議案第 6・1号 平成30年度福津市一般会計補正予算(第5号)について

議案第 6・2号 平成30年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

議案第 6・3号 平成30年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について

議案第 6・4号 平成30年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

議案第 6・5号 平成30年度福津市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について

議案第 6・6号 福津市公共施設等総合管理基金条例の制定について

議案第 6・7号 福津市財政調整基金条例を改正することについて

議案第 6・9号 福津市税条例を改正することについて

同意第 3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて

議会だより

ふくつ

## ◆福津市議会議員一般選挙・臨時会◆

# 新しい市議会議員が決まりました。

1月20日の市議会議員一般選挙により、定数18名の議員が決まりました。

(任期 平成31年1月24日～平成35年1月23日)

### 議長就任あいさつ

このたび、第五代議長に就任し、この責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

議長の基本姿勢、公平・中立を貫きながら、議会改革に取り組み、議会の「見える化」を図つていきたいと考えております。

そして、市民の皆様のご期待に応えるため、オール福津市議会で、議会の諸課題について議論を重ね、市民の皆様から『この18人を選んで良かった』という喜びの声が届くことを信じて、全力で取り組む覚悟でございます。

福津市議会議長 江上 隆行



【議長】江上 隆行（無会派）

※（ ）書きは会派  
※当選回数は旧町会

### 副議長就任あいさつ

就任にあたり、一言あいさつを申し上げます。

本市は平成17年1月に合併し、当時は約5万6千人であった人口が、約6万4千人と増加しています。魅力あるまちとして注目されている本市の副議長として、議長を補佐し、円滑な議会運営に取り組むとともに、市政発展と住民福祉向上に専心努力をいたす所存です。

市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、鋭意邁進してまいりますので、今後もご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

福津市議会副議長 米山 信



【副議長】米山 信（新政会）

※以下【議席番順】

 <p><b>石田 まなみ</b> (なのはな会)</p> <p>昭和47年生 福津市若木台5丁目19番地の16 当選回数1回 36-9386 【信条】人のつながりや対話を大切にします 【趣味】ドライブ・音楽鑑賞</p>	 <p><b>秦 浩</b> (福新会)</p> <p>昭和48年生 福津市中央3丁目2番27号 当選回数1回 080-1407-10912 【信条】誠実さと信念を持った市政に取り組みます 【趣味】映画鑑賞・ソフトボール・お祭り</p>	 <p><b>森上 晋平</b> (清志会)</p> <p>昭和59年生 福津市大石226番地 当選回数1回 080-6417-1215 【信条】誠実さと信念を持った福津市政に取り組みます 【趣味】映画鑑賞・バイオリン・カラオケ・読書</p>	 <p><b>福井 崇郎</b> (ふくつ未来)</p> <p>昭和63年生 福津市上西郷1188番地 当選回数1回 080-1421-1369 【信条】誰もが笑顔でくらせる町づくり 【趣味】映画鑑賞・アウェンダア</p>
 <p><b>尾島 武弘</b> (新政会)</p> <p>昭和33年生 福津市勝浦983番地 当選回数1回 52-13817 【信条】何事にも誠意をもって取り組む 【趣味】スポーツ観戦</p>	 <p><b>中村 晶代</b> (公明党)</p> <p>昭和34年生 福津市宮浜3丁目8番3号 当選回数1回 52-11612 【信条】一期一会、誠実ひとすじ、小さな声を大切に 【趣味】映画鑑賞・絵画鑑賞</p>	 <p><b>田中 純子</b> (なのはな会)</p> <p>昭和35年生 福津市福間駅東1丁目1番1-311号 当選回数1回 42-2973 【信条】1人の100歩より100人の1歩 【趣味】ヨガ・書道・散歩</p>	 <p><b>八尋 浩一</b> (福新会)</p> <p>昭和40年生 福津市上西郷1188番地 当選回数1回 42-1369 【信条】誰もが笑顔でくらせる町づくり 【趣味】映画鑑賞・アウェンダア</p>
 <p><b>蒲生 守</b> (公明党)</p> <p>昭和37年生 福津市中央2丁目2番20号 エレガンス福間101号 当選回数3回 080-9804-8292 【信条】市民の笑顔を作るため日々挑戦 【趣味】将棋・ビデオ編集</p>	 <p><b>中村 清隆</b> (ふくつ未来)</p> <p>昭和46年生 福津市東福間2丁目3番7号 当選回数2回 42-14826 【信条】誰もが幸せに住み続けられるまちづくりを 【趣味】家庭菜園・ウミガメの保護活動</p>	 <p><b>高山 賢二</b> (清志会)</p> <p>昭和27年生 福津市勝浦35336番地 当選回数1回 000-2002-3536 【信条】礼に始まり札に終わる 【趣味】尺八演奏・スキュー・バーディング・サッカー</p>	 <p><b>下山 昭博</b> (無会派)</p> <p>昭和29年生 福津市西福間2丁目8番5号 当選回数1回 000-1341-5005 【信条】親から孫への街づくり 【趣味】子から孫への街づくり</p>
 <p><b>桂村 公彦</b> (清志会)</p> <p>昭和29年生 福津市花見が丘3丁目3番21号 当選回数6回 42-10615 【信条】一人は万人のため万人は人のために 【趣味】三昧線(津軽等)・映画ドラマ鑑賞</p>	 <p><b>榎本 博</b> (ふくつ未来)</p> <p>昭和25年生 福津市若木台2丁目18番地の5 当選回数3回 43-13647 【信条】1%でも可能性があればあきらめない 【趣味】ガーデニング・日曜大工</p>	 <p><b>戸田 進一</b> (無会派)</p> <p>昭和27年生 福津市花見が丘1丁目10番10-503号 当選回数3回 43-16114 【信条】誠実でねばり強く、じいっしょにテニス・音楽鑑賞・家庭菜園</p>	 <p><b>横山 良雄</b> (福新会)</p> <p>昭和36年生 福津市福間南2丁目7番12号 当選回数3回 42-8567 【信条】市民の幸せ一番に笑顔で暮らせるまちづくり 【趣味】武道稽古・読書</p>

## ●福津市議会臨時会（平成31年2月1日）●

# 新しい常任委員会委員も決まりました。

福津市には、条例などの議案や請願の審査を行い、その結果を本会議に報告する常設の委員会が3つあります。それぞれの常任委員会の所管事項とメンバーを紹介します。また他の委員会、一部事務組合等のメンバーも紹介します。

## 常任委員会

### 建設環境委員会

都市整備部・地域振興部・農業委員会事務局に属する事務の調査・議案・陳情等の審査

○ ○ 蒲生守  
秦森浩  
尾上平  
福晋中  
尾上弘  
江清隆  
村行隆

### 市民福祉委員会

市民部・健康福祉部に属する事務の調査・議案・陳情等の審査

○ ○ 横山雄  
高井良  
石崇  
中田ま  
米信二  
山田ま  
山村な  
村山晶  
田中ま  
山村信

○は委員長  
○は副委員長

### 総務文教委員会

総務部・教育部・会計課・監査事務局及び他の委員会の所管に属さない事務の調査・議案・陳情等の審査

○ ○ 戸田進  
榎本浩  
八田尋  
下純昭  
山村公  
下村彦

### 議会広報調査特別委員会

各常任委員会から2名の議員が選出され、議会広報紙の編集及びそれに係る調査・研究

○ ○ 蒲生守  
福生平  
森上子  
田中代  
中村博  
上中村  
中村昭  
下純晶  
下昭彦

### 議会運営委員会

議長の諮問機関として議会の円滑な運営を図るために協議を行う

○ ○ 村島隆  
中尾清  
尾秦弘  
石浩二  
高田ま  
蒲生信  
中村二  
石賢守  
生田信  
下守

### 監査委員

市の財務や事業について監査を行う

榎本博

## 一部事務組合

【玄界環境組合】（ごみ処理に関する事 3市1町で構成） 江上 隆行  
蒲生 守

【北筑昇華苑組合】（葬儀場に関する事 3市7町で構成） 米山 信

【古賀高等学校組合】（古賀競成館高等学校に関する事 2市1町で構成） 江上 隆行

【宗像地区事務組合】（水道、消防、し尿処理、急患センター等に関する事 2市で構成）

田中 純子 高山 賢二 中村 清隆 蒲生 守  
横山 良雄 戸田 進一 米山 信 江上 隆行

「まちおこし交流センターなごみ」の指定管理者に津屋崎郷づくりが、「宮司コミュニティセンター」の指定管理者に宮司郷づくりが決定した。今回の指定管理期間は3年間となつてある。公募は非公募で行われた。市が進める郷づくりへの権限と財源移譲の取組みである。

両郷づくりとも今回の指定管理者を受けるにあたって、多くの時間と労力を使い、準備をされてきたと伺つてゐる。

市は、今回の決定により郷づくりの活動がより地域活性の起爆剤になると想えてゐる。両郷づくりへの今後の期待は大きい。

## 議会を傍聴してみませんか

**3月定例会は、平成31年2月25日(月)9時30分開会予定  
(平成31年3月19日(火)閉会予定)**

**託児サービスがあります!(中学生以上であれば傍聴席へ入ることができます)**

生後5ヶ月から就学前までのお子様をお預かりしますので、是非託児サービスをご利用ください。  
傍聴希望日の土曜・日曜・祝日を除く5日前までのお申し込みが必要です。

**本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています!**

録画中継は、議会閉会後、概ね10日以内に配信します。

議会にアクセスしよう!

【アクセス方法】福津市議会 ⇒ 議会中継・録画配信

福津市議会

検索

詳しくは、議会事務局(43-8144)にお尋ねください。

**訂正してお詫びいたします。**

平成30年11月1日発行の議会だより55号の6ページ平成30年度一般会計補正予算のところで、小学校・中学校施設維持管理費の金額を7044万円と記載していましたが、704万円の間違いでした。

### 議会広報調査特別委員会

委 副 委 員 員 長  
委 員 員 長  
員 長

下 中 田 森 福 蒲 江  
山 村 中 上 井 生 上

昭 晶 純 晋 崇 隆  
博 代 子 平 郎 守 行



蒲生  
守

福津市は東洋経済新報社の  
住みよさランキングで2年  
続九州1位となつていて。市  
に対する多くの方々の期待は  
高い。しかし市と議会との  
向性は必ずしも一致してい  
ない。平成30年度において2回  
の臨時議会が開催され、議  
案の否決もあつた。  
議会広報の編集に携わる  
のとして、市が進める政策を  
なぜ議会が反対するのか、多  
くの読者に理解を広めること  
に努力をしてきた。ただ紙面  
に限りがある以上説明が十分  
でないのも事実である。  
ここからは、議員一人一人  
が市民に説明することが必  
要になる。

### 編集後記

## 郷づくりの地域と拠点



福津市議会だより 第56号

議会広報調査特別委員会

〒811-3293 福岡県福津市中央1丁目1番1号 TEL 0940-43-8144 FAX 0940-42-2180  
メール gikai@city.fukutsu.lg.jp 印刷所 久野印刷株式会社